

文化・教育委員会 委員名簿

資料 1

(50音順、敬称略)

委員長	青柳 正規	東京大学名誉教授
委員	秋元 雄史	東京藝術大学大学美術館、練馬区立美術館館長
	浅葉 克己	アートディレクター、桑沢デザイン研究所所長
	池坊 専好	華道家元池坊次期家元
	市川 海老蔵	歌舞伎俳優
	今中 博之	社会福祉法人素王会理事長、 アトリエインカーブクリエイティブディレクター
	今村 久美	認定NPO法人カタリバ代表理事
	EXILE HIRO	アーティスト、プロデューサー
	小山 久美	昭和音楽大学短期大学部教授
	織作 峰子	大阪芸術大学教授
	桂 文枝	落語家
	絹谷 幸二	東京芸術大学名誉教授、文化功労者
	コシノジュンコ	デザイナー
	真田 久	筑波大学体育系教授
	SHELLY	タレント
	篠田 信子	富良野メセナ協会代表、喫茶・ギャラリーあかなら代表、 C-プランニング・フラノ代表
	杉野 学	全国特別支援学校長会顧問、東京家政学院大学教授
	銭谷 眞美	東京国立博物館長
	セーラ・マリ・カミングス	株式会社文化事業部代表取締役、 NPO法人桶仕込み保存会代表理事、利酒師
	千 宗室	茶道裏千家家元
	田中 稔三	キヤノン株式会社代表取締役副社長
	種村 明頼	全国連合小学校長会会長
	野村 萬斎	狂言師
	深澤 晶久	実践女子大学文学部国文学科 オリンピック・パラリンピック連携事業推進室教授
	宮田 慶子	新国立劇場演劇研修所長
	村田 吉弘	特定非営利活動法人日本料理アカデミー理事長、 菊乃井主人
	山崎 貴	映画監督
	山本 聖志	全日本中学校長会会長
	吉本 光宏	株式会社ニッセイ基礎研究所研究理事

東京2020教育プログラム「ようい、ドン！」の 現状報告と今後の取組予定

■ 本日の議題

- 1 「ようい、ドン！スクール」状況報告
- 2 オリンピック・パラリンピック教材について
- 3 マスコットについて
- 4 東京2020教育プログラム特設サイト等について
- 5 2019年度の実組予定概要
- 6 大会期間中の事業
 - 学校連携観戦チケット
 - 子供の大会運営等への参加
- 7 関係機関と連携した取組やパートナーによる取組例
- 8 東京2020大会に向けたスケジュール

1 ようい、ドン！スクール：認証校数

○ 2019年3月1日時点で**17,391校**に拡大（2018年4月時点の3倍以上）



都道府県	学校数
北海道	800
青森県	245
岩手県	259
宮城県	353
秋田県	189
山形県	181
福島県	419
茨城県	518
栃木県	437
群馬県	272
埼玉県	1,438
千葉県	1,247

都道府県	学校数
東京都	2,372
神奈川県	1,403
新潟県	788
富山県	204
石川県	165
福井県	149
山梨県	7
長野県	333
岐阜県	282
静岡県	432
愛知県	715
三重県	285

都道府県	学校数
滋賀県	177
京都府	98
大阪府	99
兵庫県	145
奈良県	204
和歌山県	182
鳥取県	51
島根県	23
岡山県	264
広島県	193
山口県	445
徳島県	68

都道府県	学校数
香川県	116
愛媛県	242
高知県	159
福岡県	400
佐賀県	119
長崎県	224
熊本県	193
大分県	162
宮崎県	2
鹿児島県	234
沖縄県	78
海外	20

1 ようい、ドン！スクール：取組事例



幼稚園（長野県）
世界の国々への興味関心



小学校（福島県）
フェンシング体験



小学校（千葉県）
車いすバスケットボール体験



特別支援学校（滋賀県）
卓球バレー



中学校（東京都）
シッティングバレーボール体験



高等学校（山梨県）
学園際での展示

2 オリンピック・パラリンピック教材：教材等の開発

- 学校におけるオリンピック・パラリンピック教育に活用いただけるよう、関係団体と連携の上、教材及び指導案を開発
- 2018年度は以下の教材・指導案を開発し、活用促進を図っているところ※ウェブ掲載
(教材例)

- ・ IOC公認教材「OVEP (Olympic Values Education Programme)」
- ・ IPC公認教材「I'mPOSSIBLE」
- ・ 東京都教育委員会作成教材「オリンピック・パラリンピック学習読本」



(指導案例)

- ・ 東京五輪音頭-2020- …東京都立南多摩中等教育学校及び東京都教育委員会が開発、8月掲載開始
- ・ OVEPベースの指導案 …国立大学法人筑波大学の監修のもと、組織委が開発
第一弾として、シンボル、モットー、休戦に関する指導案 (10月)
第二弾として、メダルプロジェクトに関する指導案 (11月)
第三弾として、聖火リレーに関する指導案・スライド (3月)
今後も、64年大会のレガシー、フェア・プレイなどをテーマに開発予定

2 オリンピック・パラリンピック教材：公開授業

○ 教材及び指導案の活用促進のため、公開授業も定期的に行なわれる

・東京五輪音頭-2020- 授業成果発表会@都立南多摩中等教育学校（2018年7月11日）

第1学年の保健体育の授業で、8時間にわたって「東京五輪音頭-2020-」の授業を実施



○ 今後も、大会に向け、各プロジェクトに関連した公開授業等を企画中

3 マスコット：小学生投票

- 大会史上初、小学生が選ぶマスコット
- 16,769校（対象校の約8割）、205,755学級が投票

- 233の全国の自治体が「マスコット投票宣言」に参加

- スケジュール
 - ・ 2018年2月28日
 - ・ 2018年7月22日
 - ・ 2018年9月以降

投票結果発表
デビューイベント
学校での活用開始（イラスト活用ガイドライン、マスコット派遣）



3 マスコット：学校への派遣

○ 2018年9月から2020賞の派遣をはじめ、全国の学校にマスコットが登場

○ 派遣実績（2019年3月9日時点）



2018年9月10日（月）	福岡県	福岡教育大学附属福岡小学校 【2020賞：キックオフイベント】
2018年9月29日（土）	東京都	利島村立利島小学校【2020賞：運動会】
2018年10月10日（水）	東京都	都立八王子東特別支援学校【ポスター制作の授業】
2018年10月12日（金）	秋田県	秋田市立飯島南小学校【2020賞：体育の授業】
2018年10月12日（金）	奈良県	橿原市立白檀北小学校【ポスター制作の授業】
2018年10月25日（木）	東京都	立川市立第十小学校【2020賞：体育の授業】
2018年11月16日（金）	東京都	都立光明学園【2020賞：ソフトバレーボール大会】
2018年11月22日（木）	茨城県	利根町立文間小学校【2020賞：体育の授業】
2018年12月5日（水）	埼玉県	川越市立古谷小学校【2020賞：体育の授業】
2019年1月23日（水）	兵庫県	尼崎市立武庫の里小学校【2020賞：体育の授業】
2019年2月8日（金）	熊本県	甲佐町立甲佐小学校【体育の授業】
2019年2月28日（木）	東京都	品川区立豊葉の杜学園【体育の授業】
2019年3月9日（金）	東京都	江東区立有明西学園【体育の授業】

○ 上記のほか、今後とも関係団体等と連携の上、全国の学校にマスコットを派遣予定

3 マスコット：学校への派遣

○ 福岡教育大学附属福岡小学校

- ・ 2018年9月10日（月）
- ・ ミライトワ、ソメイティのほか、谷口さん（マスコット作者）中野大輔さん（体操 オリンピアン）が訪問
- ・ 全校集会での交流、給食交流
体育の授業での体操教室を実施
- ・ 全校児童及び保護者600名が参加



3 マスコット：学校への派遣

○ 東京都利島村立利島小学校

- ・ 2018年9月29日（土）
- ・ ミライトワ、ソメイティのほか、池谷幸雄さん（体操 オリンピアン）が小学校の運動会を訪問
- ・ 運動会での交流のほか、悪天候のため急遽、屋内での体操教室を実施
- ・ 全校児童及び村民が参加



4 東京2020教育プログラム特設サイト等について

○ 特設サイト「TOKYO 2020 for KIDS」（日・英）

主に学校・教育委員会向けの情報発信の場として以下のコンテンツを配信

- オリンピック・パラリンピック教材の配信
- オリンピック・パラリンピック教育の事例紹介
- 教育プログラムや東京2020に関する最新ニュースの配信
- その他、児童・生徒が楽しんで学べるコンテンツも掲載

○ 認証校向けメールマガジン「ようい、ドン！通信」（季刊）

「ようい、ドン！スクール」として認証された学校向けの情報発信
マスコット各種ポーズのイラストデータも配布中

2018年12月 創刊

2019年 2月 第2号配信

2019年 3月 第3号配信予定

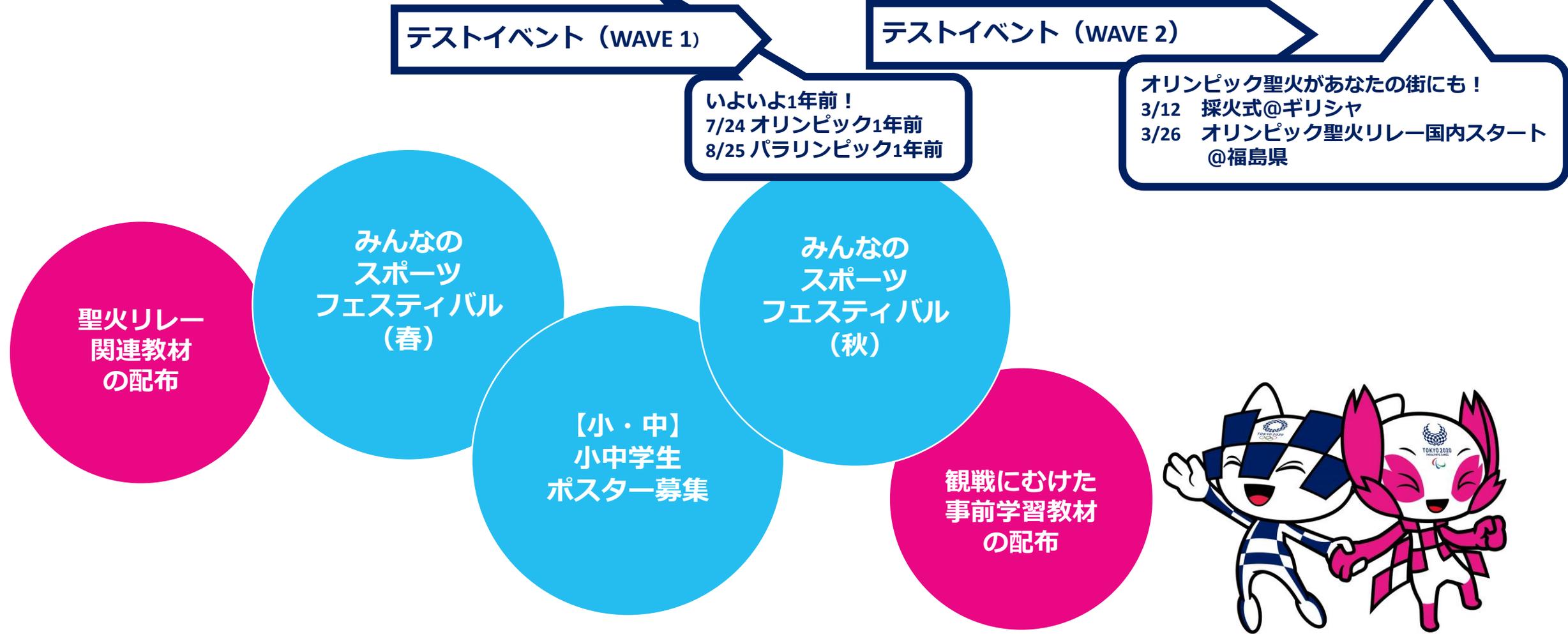
○ 東京2020教育プログラムPRリーフレット

「ようい、ドン！スクール」募集周知のため概要や申請方法等を掲載



5 2019年度の取組予定概要

2019年4月～7月	夏休み	2019年9月～12月	冬休み	2020年1月～3月	春休み
------------	-----	-------------	-----	------------	-----



■ 主な教材配布予定

聖火リレー 関連教材 の配布※

※ウェブ配信



- ・ 聖火リレーは全国の児童・生徒が東京2020大会に直に触れることのできる貴重な機会。
- ・ 歴史や意義、コンセプト等を学んでいただける関連教材を制作・配布予定

●教材の制作・配布

(2019年3月に配布開始)

- ・ 聖火リレーの歴史や意義等に関する指導案及び授業で活用いただけるスライド資料（筑波大学監修）

(今後、配布予定)

- ・ トーチデザインや、聖火ランナー等に関する指導案及び参考資料

●今後の検討事項

- ・ 沿道での応援等における児童・生徒の参加体験
- ・ 聖火リレー関連イベントにおける児童・生徒の参画

■ 主な教育関連イベント

みんなの
スポーツ
フェスティバル
(春)

学校の運動会や体育祭等におけるオリンピック・パラリンピックに関連した取組を募集し、優れた取組を表彰する事業を、2019年春と秋の2回に分けて実施予定

運動会や体育祭が、スポーツを楽しむきっかけとなるとともにオリンピック・パラリンピックや東京2020大会を身近に感じることができる場となるよう、学校の皆様の創意工夫を凝らした取組を募集

● 実施体制

主催：組織委員会

後援：スポーツ庁

公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本スポーツ協会

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会



© Tokyo 2020

東京2020
みんなのスポーツ
フェスティバル

● 応募期間

2019年5月7日（火）～7月31日（水）

優秀賞を受賞した学校（10校程度）には、表彰状と副賞（特製バトン）を贈呈。

6 大会期間中の事業：学校連携観戦チケット

- 「学校連携観戦チケット」は、オリンピック・パラリンピックの競技観戦を通じ、次世代を担う子供たちに、一生の財産として心に残るような機会を提供することを目的としている。
- 本企画チケットは、「チケット戦略に関する有識者会議」のなかで幅広い支持のもと方針が示され、組織委員会理事会やIOC理事会でも正式に取り組むことが確認された。

項目	内容
企画内容	東京都・関係自治体（道県）・東日本大震災被災3県の小・中・高等学校等に在籍する児童・生徒を中心に、自治体や学校等を通じて特別価格の企画チケットを販売するもの。（オリパラ合わせて100万人以上の規模を想定）
対象者	・東京都・関係自治体（道県）・東日本大震災被災3県に所在する小・中・高等学校等に在籍する児童・生徒 ・その他全国の小・中・高等学校等に在籍する児童・生徒



6 大会期間中の事業：子供の大会運営等への参加（検討状況）

【基本的な考え方】

- 次代を担う若年層が大会運営に関わることは、教育的価値も高く、未来につながる有意義な取り組み。
- 他方、若年層が参加する場合の暑さ対策など安全・安心への配慮は一段と重要。このため、活動日数や時間、水分補給等に十分な配慮を行うとともに、学校や関係団体の協力の下で実施。
- 参画の機会・募集方法については、東京都と組織委等が連携し、検討を実施。

【検討の方向性】

- 競技のサポートなどの実施ができないかを検討中。

7 関係機関と連携した取組やパートナーによる取組例

- 「すごいぞ！パラリンピック」絵画・作文コンクール（JPC）
 - ・ パラリンピックの価値をテーマに、絵画・作文を募集
全国から894点（絵画499点 作文395点）の応募
- はがきでコミュニケーション全国発表大会（日本郵便株式会社）
 - ・ はがきによるコミュニケーションの活性化のため、小学生からはがきを募集・表彰する事業に、東京2020賞を設定し、オリンピック・パラリンピックの価値を学ぶ機会を提供予定
- 競技体験プロジェクト「東京2020 Let's 55」
（共催：三井不動産株式会社、野村ホールディングスをはじめとしたパートナーや自治体）
 - ・ 東京2020の全55競技を体験できるプロジェクトを実施
- 英語教員派遣事業（イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社）
 - ・ EF社のネイティブ講師を全国の小中高校に派遣し、オリンピック・パラリンピックについて英語で学ぶ授業を原則無償で実施



8 東京2020大会に向けたスケジュール





資料 8

東京2020組織委員会 活動報告（2018年度）

2019年3月19日

1. 2018年の主な活動報告について
2. 東京2020参画プログラムの現状について
3. アクション&レガシーファイナルレポートについて
4. おわりに（レガシー・レポーティング・フレームワーク）

東京2020大会の概要

競技日程

オリンピック(17日間)

7月24日
~8月9日

パラリンピック(13日間)

8月25日
~9月6日

選手数

オリンピック

11,090人

パラリンピック

4,400人

競技数・種目数

オリンピック

33競技 339種目

パラリンピック

22競技 540種目

会場

全数

43会場

うち

都外

18会場



職員数

現在(2018年12月時点)

2.0千人

大会時(予定)

8.0千人

ボランティア

11万人以上

〈内訳〉

大会ボランティア8万人

都市ボランティア3万人以上

2018年の主な活動報告事項

1. 競技会場及び競技スケジュールについて
2. 開会式・閉会式について
3. 聖火リレー・聖火台について
4. 東京2020大会マスコット決定
5. ボランティアについて
6. 大会チケットについて
7. 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」
8. 機運醸成に向けた主な取組み
9. 復興に関する主な取組み
10. 大会予算V3

1-1) 競技会場

- ・ 競技は東京1964大会のレガシーを引き継ぐ**ヘリテッジゾーン**、都市の未来を象徴する**ベイゾーン**のほか、地方会場で実施。
- ・ 2018年5月までに新たに競技会場が決定され、最終的にオリンピックは42会場（33競技）、パラリンピックは21会場（22競技）で確定。
- ・ 青海、お台場、有明地区において、祝祭空間を創出するアーバンクラスター構想が進展。
- ・ 晴海に選手団が宿泊する選手村を建設。宿泊施設以外にもオフィシャルストア・ヘアサロン・雑貨店、総合診療所、スポーツジム、ダイニングホール等を整備。

<競技会場例>

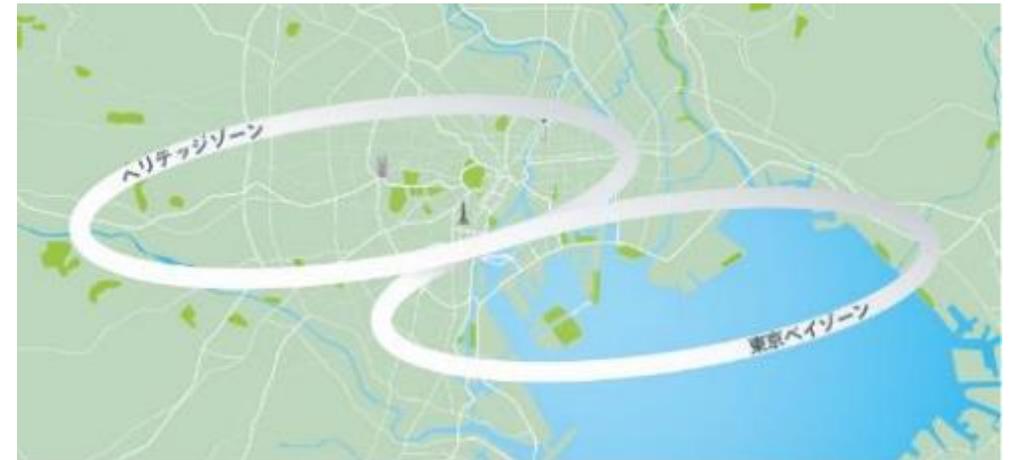
福島あづま球場（野球・ソフトボール）



有明BMXコース完成予想図（自転車競技・スケートボード）



会場詳細は、東京2020組織委HPを参照
<https://tokyo2020.org/jp/games/venue/>



1-2) 競技スケジュール(オリンピック)

競技スケジュールの策定

- ・ オリンピック各競技のセッションスケジュールを公表(2018年7月、9月、12月)。
- ・ スケジュールの詳細(種目ごとの日程など)を現在策定中。

主な競技スケジュール



○競泳
7月25日(土)～8月2日(日)



○体操競技
7月25日(土)～7月30日(木)
8月2日(日)～8月4日(火)



○ラグビー
7月27日(月)～8月1日(土)

- ・ 19日間に及ぶ、史上最多33競技339種目を42の競技会場で実施。
- ・ 日本各地で競技が行われ、より多くの方々に大会の熱気を感じて頂く。

1-3) 競技スケジュール (パラリンピック)

競技スケジュールの策定

史上最多4,400名※の世界のパラリンピアンによる、12日間の戦いのセッションスケジュールが決定(2018年10月)。

主な競技スケジュール



○車いすテニス
8月28日(金)～9月5日(土)



○ウィルチェアーラグビー
8月26日(水)～8月30日(日)



○ゴールボール
8月26日(水)～9月4日(金)

- ・ 8月25日の開会式翌日から9月6日の閉幕まで、12日間にわたり22競技540種目が21会場で実施。
- ・ 大会全体を通じて盛り上がりが続くよう、人気競技がバランスよく配置。

※選手数の上限

2) 開会式・閉会式について

4式典を一体と捉え、統一あるものとするために全体のプラン・ストーリーを作成する。

<4式典のあり方>

【オリンピック開会式】

- ・国内外からの注目度が非常に高い式典であり、世界から集うアスリートや観客を歓待する。
- ・東京2020大会の幕開けの式典として4つの式典の萌芽である。
- ・東京2020大会の担う歴史的意義や社会的意義、招致時のコンセプトに鑑みて4式典を貫くポジティブなメッセージを世界に発信する。

【パラリンピック開会式】

- ・東京は二度目の夏季パラリンピックを開催する史上初の都市であり、中でも開会式は世界中の注目を集める機会である。
- ・違いを認め合い、支え合い、活かしあうことで、多様で平等な共生社会を目指すことを世界に伝える。
- ・多様なものを様々にかけ合わせることで、既成概念を超えた新しい可能性を探り、人々の意識を変えるきっかけにする。

【オリンピック閉会式】

- ・競技を終えたアスリートの健闘を称える。また、アスリートに限らず、人々の心に感動を残した方々も讃えたい。
- ・アスリートだけでなく観客も巻き込み、国を超えた一体感を生み出す。
- ・その熱気と興奮を、続いて開催されるパラリンピックへと引き継ぐ。

【パラリンピック閉会式】

- ・パラリンピックのフィナーレであるとともに、東京2020大会の全体を締めくくるフィナーレでもある。
- ・持続可能な社会に向けて、「和」の精神に基づき、自然や人間社会がバランスをとり、共存していく新しい時代のスタートラインとする。
- ・世界の調和と明るい未来への可能性を示し、子どもたちや若い世代への継承の場とする。

<演出企画の実施体制>

氏名	肩書等	制作体制
野村萬斎	狂言師	チーフ・エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター（東京2020大会総合）
山崎貴	映画監督	エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター（オリンピック担当）
佐々木宏	クリエイティブ・ディレクター	エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター（パラリンピック担当）

氏名	肩書等	制作体制
川村元気	映画プロデューサー／小説家	クリエイティブ・ディレクター（東京2020総合チームメンバー）
来栖良依	クリエイティブプロデューサー クリエイティブディレクター	
椎名林檎	演出家・音楽家	
菅野薫	クリエイティブディレクター クリエイティブテクノロジスト	
MIKIKO	演出振付家	

3-1) 聖火リレーについて

・東京2020オリンピック聖火リレー

コンセプト 「希望の道を、つなごう。 Hope Lights Our Way」

ギリシャ聖火式から日本に聖火が到着するまで

(参考) 東京2020オリンピック聖火リレー 各都道府県 実施日一覧

3/12(木)
ギリシャ古代オリンピア市 聖火採火式

3/12(木)~3/19(木)
ギリシャ国内聖火リレー

3/19(木)
ギリシャアテネ市にて聖火引継式

3/20(金)
宮城県航空自衛隊松島基地に到着

3/20(金)~25(水)
宮城県・岩手県・福島県で「復興の火」として
展示



福島県から日本全国を回る

東京2020オリンピック聖火リレーがスタート!

都道府県名	日 程	都道府県名	日 程	都道府県名	日 程
① 福島県	3/26(木)~3/28(土)	⑱ 鹿児島県	4/28(火)~4/29(水)	⑳ 富山県	6/3(水)~6/4(木)
② 栃木県	3/29(日)~3/30(月)	⑲ 沖縄県	5/2(土)~5/3(日)	㉑ 新潟県	6/5(金)~6/6(土)
③ 群馬県	3/31(火)~4/1(水)	⑳ 熊本県	5/6(水)~5/7(木)	㉒ 山形県	6/7(日)~6/8(月)
④ 長野県	4/2(木)~4/3(金)	㉓ 長崎県	5/8(金)~5/9(土)	㉓ 秋田県	6/9(火)~6/10(水)
⑤ 岐阜県	4/4(土)~4/5(日)	㉔ 佐賀県	5/10(日)~5/11(月)	㉔ 青森県	6/11(木)~6/12(金)
⑥ 愛知県	4/6(月)~4/7(火)	㉕ 福岡県	5/12(火)~5/13(水)	㉕ 北海道	6/14(日)~6/15(月)
⑦ 三重県	4/8(水)~4/9(木)	㉖ 山口県	5/14(木)~5/15(金)	㉖ 岩手県	6/17(水)~6/19(金)
⑧ 和歌山県	4/10(金)~4/11(土)	㉗ 島根県	5/16(土)~5/17(日)	㉗ 宮城県	6/20(土)~6/22(月)
⑨ 奈良県	4/12(日)~4/13(月)	㉘ 広島県	5/18(月)~5/19(火)	㉘ 静岡県	6/24(水)~6/26(金)
⑩ 大阪府	4/14(火)~4/15(水)	㉙ 岡山県	5/20(水)~5/21(木)	㉙ 山梨県	6/27(土)~6/28(日)
⑪ 徳島県	4/16(木)~4/17(金)	㉚ 鳥取県	5/22(金)~5/23(土)	㉚ 神奈川県	6/29(月)~7/1(水)
⑫ 香川県	4/18(土)~4/19(日)	㉛ 兵庫県	5/24(日)~5/25(月)	㉛ 千葉県	7/2(木)~7/4(土)
⑬ 高知県	4/20(月)~4/21(火)	㉜ 京都府	5/26(火)~5/27(水)	㉜ 茨城県	7/5(日)~7/6(月)
⑭ 愛媛県	4/22(水)~4/23(木)	㉝ 滋賀県	5/28(木)~5/29(金)	㉝ 埼玉県	7/7(火)~7/9(木)
⑮ 大分県	4/24(金)~4/25(土)	㉞ 福井県	5/30(土)~5/31(日)	㉞ 東京都	7/10(金)~7/24(金)
⑯ 宮崎県	4/26(日)~4/27(月)	㉟ 石川県	6/1(月)~6/2(火)		

- ・都道府県の実施日数について、開催都市東京都については15日を設定。
- ・東日本大震災被災3県(岩手、宮城、福島)、複数種目を実施する4県(埼玉、千葉、神奈川、静岡)については、各県3日を設定。
- ・上記都県以外は各道府県2日と設定。(移動日を含め合計121日)

・東京2020パラリンピック聖火リレー

コンセプト 「あなたは、きっと、誰かの光だ。 Share Your Light」

- ・開催都市東京都、パラリンピック競技開催県(埼玉県、千葉県、静岡県)においてトーチで火をつなぐリレーを実施。
- ・4都県を除く43道府県については、採火などを通じてなるべく多くの道府県に参画いただけるように今後調整。

3-2) 聖火台について

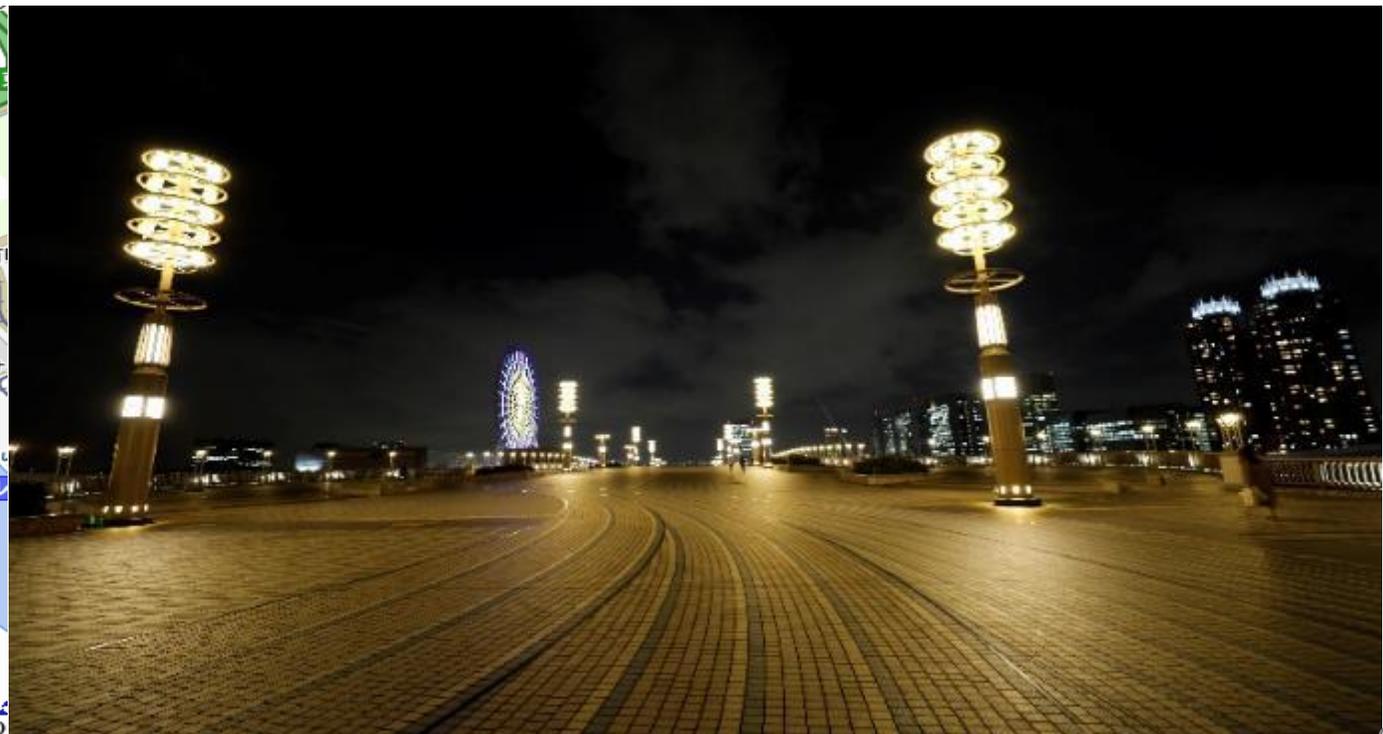
【製作台数】

式典用と競技期間用の2台の聖火台を製作する。

【競技期間中の設置場所について】

東京臨海部夢の大橋有明側を聖火台設置場所候補地としてIOCへ提案。

〈設置場所〉 東京臨海部 夢の大橋 有明側 (江東区有明3丁目付近)



4-1) 東京2020大会マスコット決定

史上初、大会マスコットを小学生の投票で決定

(小学部を置く特別支援学校や海外の日本人学校、国内の外国人学校、不登校児童が通う施設等を含む)

マスコット決定までの流れ

2017年8/1~14 大会マスコット募集 2,042件応募

12/7 大会マスコット候補 3案発表

12/11~2018年 全国の小学校での、学級単位での投票

2/22

【投票総数】 16,769学校、205,755学級

(全国の小学校の約8割)



4-2) 東京2020大会マスコット決定

- ・2018年7月22日、マスコットの名前が決定し、正式にデビュー。
- ・その後、2年前イベント(7月24日オリンピック、8月25日パラリンピック)や、アスリートと共に実施する競技体験イベントといった様々な場面でマスコットが登場。



伝統と近未来がひとつになった
温故知新なキャラクター。

伝統を大切にしながら、つねに最新情報もキャッチしています。

正義感が強く運動神経バツグンで、どんな場所にも瞬間移動できます。

伝統の市松模様と近未来的な世界観から生まれました。



ミライトワ
MIRAITOWA

○名前の由来

ミライトワという名前は、「未来」と「永遠(とわ)」というふたつの言葉を結びつけて生まれました。

東京2020大会を通じて、世界の人々の心に、希望に満ちた未来をいつまでも輝かせます。



ソメイティ
SOMEITY

○名前の由来

ソメイティという名前は、桜を代表する「ソメイヨシノ」と非常に力強いという意味の「so mighty」から生まれました。東京2020大会を通じて、桜を愛でる日本の心とパラリンピックアスリートの素晴らしさを印象づけます。

桜の触角と超能力を持つクールなキャラクター。

いつもは物静かなのに、いざとなるとパワフル。

強い信念と自然を愛する優しさがあり、石や風と話したり、見るだけで物を動かします。

市松模様と桜を力強く表現して生まれました。

5-1) ボランティアについて

・大会ボランティアは、競技会場や選手村、その他大会関連施設で、観客サービスや競技運営のサポート、メディアのサポート等、大会運営に直接携わる活動を実施。

・応募完了者数204,680人
(大会ボランティアマイページ登録者数262,437人)

- ・男女比:男性36%、女性64%
- ・国籍:日本国籍64%、日本国籍以外36%
- ・11日以上の活動を希望する方が6割を超える
- ・各世代バランスよく応募

項目	大会ボランティア募集要項 (抜粋)
募集人数	80,000人
応募に当たって	2002年4月1日以前に生まれた方 日本国籍又は日本に滞在する在留資格を有する方
応募期間	2018年9月26日～12月21日 (視覚に制約のある方等は除く)
活動分野と人数	活動分野、主な活動内容、人数の目安
役割等の決定方法	希望する役割等と実際の役割等のマッチングにより決定。 マッチング不成立の際は、2019年9月頃に通知
活動期間・時間	10日以上を基本、休憩・待機時間を含む1日8時間程度
活動時にお渡しする物品等	ユニフォーム、活動中の飲食、ボランティア活動向けの保険、活動期間中における滞在先から会場までの交通費相当として1,000円/日

※都市ボランティアについては、都及び関係自治体で募集

5-2) ボランティアについて

・ボランティアのネーミング

- ・大会の顔となるボランティアについては、愛称（ネーミング）をつけるのが慣例。
※ロンドン 大会）ゲームズメーカー、都市）ロンドンアンバサダー
- ・東京大会では、参画を促す観点からボランティア応募者による投票を実施。
- ・投票期間：12月12日（水）～1月20日（日）
- ・最終案発表：1月28日（月） フィールド キャスト/シティ キャストに決定
- ・ネーミングは、大会ボランティアを含む大会スタッフ及び都市ボランティアのネーミング。

大会スタッフ・ボランティア ネーミング

都市ボランティア ネーミング

Field Cast

フィールド キャスト

City Cast

シティ キャスト

■競技場などで選手と関わりながら活躍する人、そして、競技場と競技場を結ぶ街でみなさんと関わりながら活躍する人がいます。ボランティアひとりひとりに、大会を盛り上げる重要な役割を担ってほしい。そんな願いをキャスト（配役）という言葉に込めました。

・ボランティアのユニフォーム

「大会スタッフ・都市ボランティアのユニフォームデザイン選考委員会」を設置し、デザイン選考中

※（最終選考）2019年3月下旬

6) 大会チケットについて

史上最大級のチケットティング・イベント

(プロ野球1球団の4~5年分のチケットを約1ヶ月間で取扱うプロジェクト)

- 2018年7月から東京2020大会公式チケット販売サイトでチケットを購入するための、TOKYO 2020 IDの登録開始
- チケット発売は2019年春以降

	開会式	閉会式	競技一般チケット
オリンピック	12,000円~300,000円	12,000円~220,000円	2,500円~130,000円
パラリンピック	8,000円~150,000円	8,000円~90,000円	900円~7,000円

過去大会のチケット規模(概算数)

ロンドン大会 1037億円 / 1080万枚
リオ大会 509億円 / 821万枚

東京大会のチケット規模(招致ベース)

オリンピック 772億円 / 780万枚
パラリンピック 48億円 / 230万枚
合計 820億円 / 1010万枚



※チケット枚数・価格等については変更の可能性あり。

『チケット完売・売上の最大化』と『フルスタジアムの実現』の両立がポイント

7)「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」

オリンピック・パラリンピック史上初の取り組み！リサイクル率100%を目指す！

使用済み携帯電話等の小型家電から製作する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」を実施。このプロジェクトを通じて、金・銀・銅あわせて約5,000個のメダルを製作予定。

【メダル製造に必要な金属の確保状況】

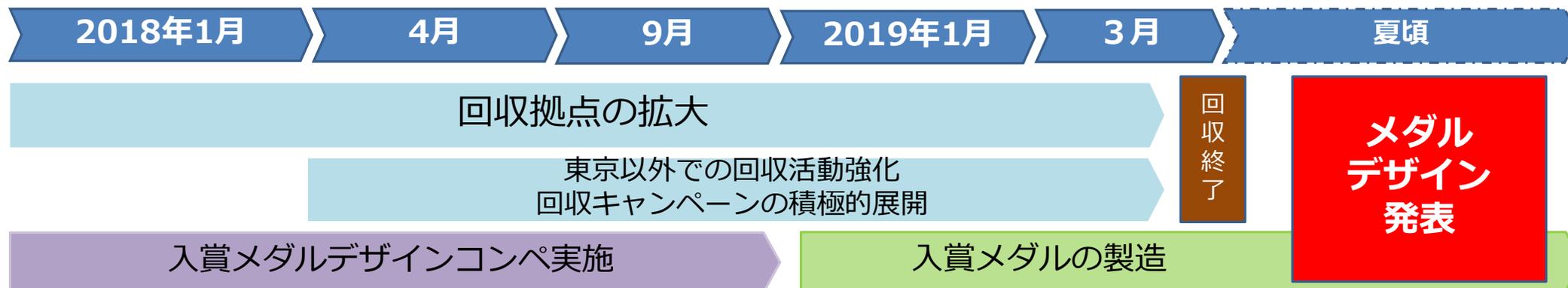


※最終的な納入量に対する納入済み金属量および2018年10月末までの小型家電等の回収量に基づく納入見込み量の合計の割合

※銅については2018年6月までの回収量で100%を達成

- 全体の約9割にあたる1,594の自治体、パートナー企業等が回収に参加
- メダル製造に必要な金属量を確保できる見通しが立ったため、2019年3月31日を持って回収を終了
- 2019年夏頃に予定しているデザイン発表に向けて、メダルデザインコンペティション(421名エントリー)をはじめ、平面デザイン審査や、立体デザイン審査を複数回実施。

【スケジュール(イメージ)】



8-1) 機運醸成に向けた主な取組み

一人でも多くの方が参画し、大会をきっかけにした成果を未来につなげるため、オリンピック・パラリンピックの機運を醸成。

主なイベント	取組内容
東京2020参画プログラム	様々な組織・団体が東京2020大会の盛り上げ、大会後のレガシー創出を目指し、2020年に向けてオールジャパンで取り組む参加型のプログラムを実施（2016年10月～）。
東京2020 NIPPONフェスティバル	世界から注目が集まる時期に東京2020大会公式文化プログラムとして、我が国の誇る文化を国内外に強く発信（2020年4月頃～）。
開幕まであと2年！ 2 Years to Go！	カウントダウンセレモニーを行い、開催まで2年の節目を祝い一体感を強化（2018年7月・8月）。
東京五輪音頭-2020-	1963年に三波春夫さんをはじめ多くの方々に歌い継がれてきた東京五輪音頭を現代版にリメイク。夏祭りの会場から盛り上げ（2017年7月～）。
フラッグツアー	東京の市区町村を巡ったフラッグと共に、日本全国にオリンピック・パラリンピックの価値を伝達（2016年10月～）。

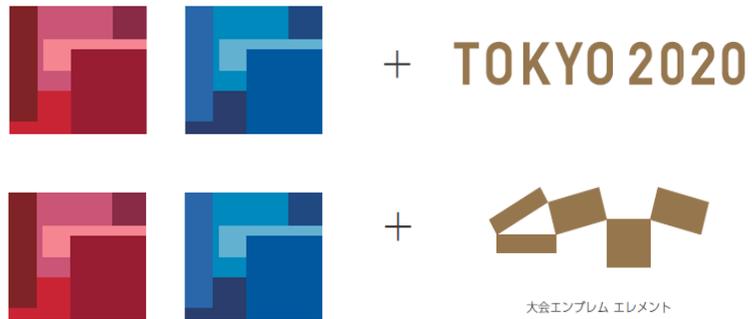


8-2) 機運醸成に向けた主な取組み

コアグラフィックスの決定

コアグラフィックスは、会場装飾、都市装飾以外にも、競技備品やチケット等広く展開され、大会を印象付けるデザインとなります。今後、コアグラフィックスを展開させたデザインの装飾等は、2019年春頃実装を行う予定です。

Tokyo2020コアグラフィックス



Tokyo2020横型装飾バナー 展開例



Tokyo2020縦型装飾バナー 展開例



コアグラフィックスのデザインモチーフとして"かさねの色目"を用います。

「かさねの色目」とは、十二単（じゅうにひとえ）に代表される色の組み合わせのひとつで、日本の四季折々の自然の色合いを重ね合わせた、日本の美や美意識を象徴する文化のひとつと言えます。

8-3) 機運醸成に向けた主な取組み

国連とのSDGsの推進協力に関する基本合意書へ署名

11月14日、国際連合と東京2020大会を通じたSDGsの推進協力に関する基本合意書へ署名しました。国際連合とSDGsについて基本合意書を締結するのは、歴代のオリンピック、パラリンピック組織委員会として初めてのこととなります。



8-4) 機運醸成に向けた主な取り組み

東京2020オリンピック公式映画の監督に河瀬直美さんが就任

河瀬 直美 1969年 奈良県生まれ

(主な作品)

「萌の朱雀」 **カンヌ映画祭カメラドール(新人監督賞)**

「火垂」 **ロカルノ国際映画祭国際批評家連盟賞
ヨーロッパ国際芸術映画連盟賞**

「殞の森」 **カンヌ映画祭グランプリ (審査員特別大賞)**

「あん」 **バリャドリッド国際映画祭最優秀監督賞
バレッタ映画祭最優秀作品賞**

「光」 **カンヌ国際映画祭エキュメニカル賞**



9) 復興に関する主な取組み

オリンピック聖火リレー

- ・オリンピック聖火リレーの出発地を福島県とするとともに、東日本大震災の被災3県（岩手、宮城、福島）については、各県3日に設定。
- ・聖火リレー開催に先立ち、ギリシャで採火した聖火を「復興の火」として被災3件で順次展示。

福島あづま球場・宮城スタジアム

- ・福島あづま球場で野球・ソフトボールを実施。
- ・宮城スタジアムでサッカーを実施。

東京2020理事会

- ・福島県（ナショナルトレーニングセンターJヴィレッジ）で理事会を開催。同日、理事会に先立ち、3県関係者を交えた意見交換会を実施（2018年7月）。

スポーツの力で被災地を応援 ～若手アスリート参画プロジェクト～

被災地で行われたイベントにアスリートを派遣し、スポーツ等を通して、被災地の子どもたちとの交流を行った。



復興のモニュメント

- ・「感謝・応援～支援への感謝や選手への応援を伝えたい～」。
 - ・「感謝・感動～応援への感謝やスポーツの持つ力を被災地に届ける～」。
- をコンセプトにモニュメントを製作予定。

ワールドプレスブリーフィングレセプション

国内外のプレスなどに対し、被災3県の食材を活用した夕食会を実施（2018年9月）。

大会を通じた取組例（東京都と共催）

フラッグハンドオーバーセレモニー

- ・世界中の人々からの支援への感謝を発信



ジャパンハウスでの発信

- ・元気を取り戻しつつある東北の姿を紹介



リオから世界へ

リオから被災地へ

平昌から被災地へ

ライブサイト

- ・岩手県盛岡市
- ・宮城県仙台市
- ・福島県福島市



ライブサイト

- ・岩手県盛岡市
- ・宮城県仙台市
- ・福島県郡山市
- ・熊本県熊本市



10) 大会経費V3

- 大会経費V3を公表。(2018.12.21) (V2と同額)
- 東京都と国が負担するその他の経費も、V2に引き続き7,500億円となっており、組織委員会とその他の経費を合わせた大会経費V3の総額は1兆3,500億円で、V2と同額。

【参考】経費分担試算(V3予算)

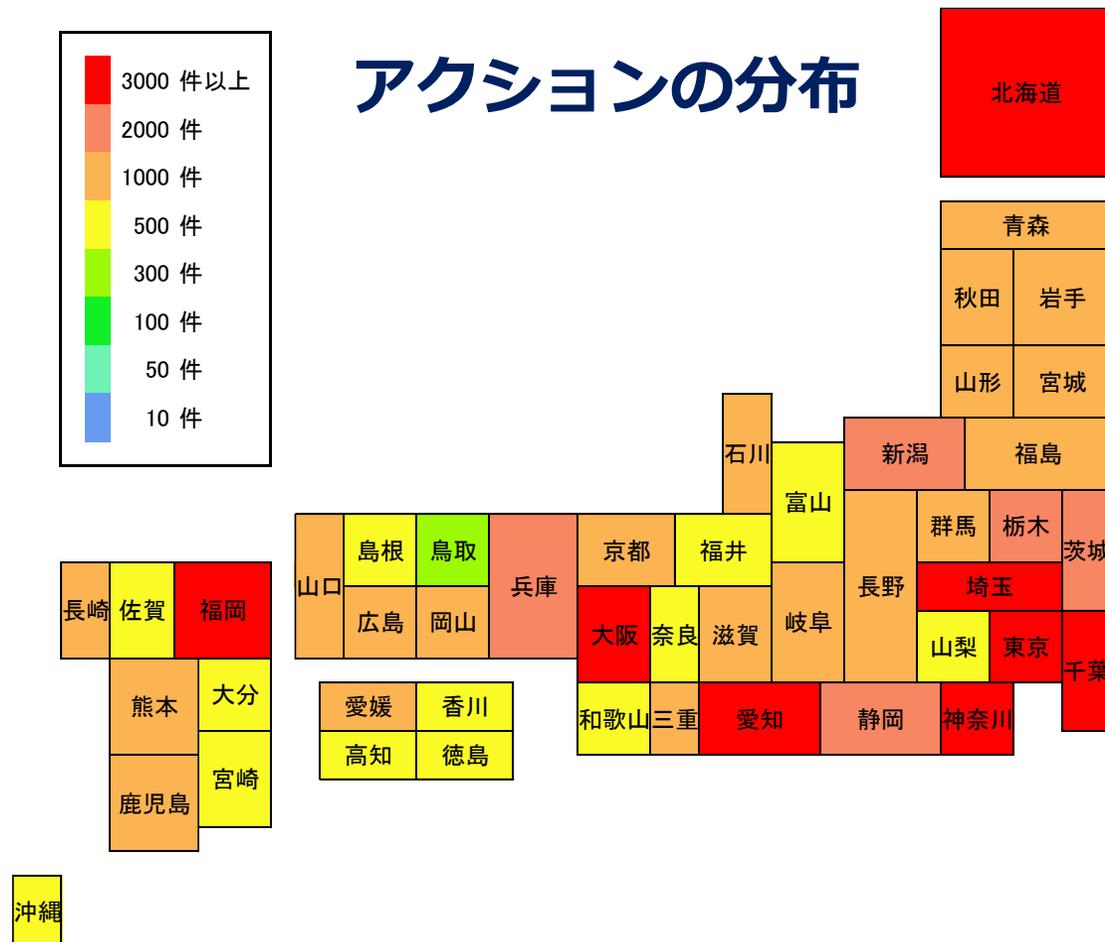
項目	組織委員会	東京都	国	合計
恒久施設	—	2,250億円	1,200億円	3,450億円
仮設等	950億円	2,100億円		
エネルギーインフラ	150億円	250億円	200億円	4,650億円
テクノロジー	700億円	300億円		
会場関係小計	1,800億円	4,900億円	1,400億円	8,100億円
	(400億円)	(200億円)	(200億円)	(800億円)
輸送	350億円	250億円		
セキュリティ	200億円	750億円		
オペレーション	1,050億円	100億円	100億円	5,400億円
管理・広報	650億円	0億円		
マーケティング	1,250億円	0億円		
その他	700億円	0億円		
大会関係小計	4,200億円	1,100億円	100億円	5,400億円
	(200億円)	(100億円)	(100億円)	(400億円)
計	6,000億円	6,000億円	1,500億円	13,500億円
	(600億円)	(300億円)	(300億円)	(1,200億円)

(注1) このほかに予備費1,000億円~3,000億円があります。これにより、予期せずに発生し得る、緊急に対応すべき事態等に対処します。

(注2) () は、うちパラリンピック経費分です。

2. 参画プログラム ①オールジャパンでの参画状況

- 2019年3月時点で、**約94,600件** のアクションを認証
- 全国へと広がる認証アクションへの参加人数は、**約6,700万人!!**



2. 参画プログラム ②アクション事例

文化

東京キャラバン（東京都）

【概要】

- 作家・野田秀樹の発案により、多種多様なアーティストが出会い、ジャンルを超えて“文化混流”することで新しい表現が生まれるというコンセプトを掲げる「東京キャラバン」。

【主催者報告】

- 平成29年度からは日本全国の自治体（道府県、政令指定都市、中核市）から立候補を募り、共感いただいた44地域から開催候補地を選出し、各地を巡る「旅する文化ムーブメント」として本格始動。
- 京都（亀岡・二条城）、八王子、熊本にて、芸術文化界で活躍する様々な著名人が参加し、創作されたジャンルを超えたパフォーマンスに約21,750名が魅了された。



撮影：井上嘉和

2. 参画プログラム ②アクション事例

文化

全国文化プログラムプレスセンター・プロジェクト（文化庁）

【概要】

- 各地の自治体等公的団体が実施する文化プログラムのほか、地域の文化・歴史をテーマにした祭り、企画・イベント、文化財等を、地元の中高校生や大学生、専門学校生らが取材し、地域文化を発掘・再発見しながら、地域文化の魅力を発信し、観光活性化につなげる「文化プログラムプレスセンター」を全国47都道府県に広げる。

※ 第6回文化・教育委員会後にも、本プロジェクトの記者会見を実施

【主催者報告】

- 文化プログラムをはじめ、地域の文化をテーマにしたイベントを中学生・高校生のジャーナリストが取材し、新聞・ルポを制作し、専用サイト上で発表する活動を、日本全国11カ所で計15回実施した。参加した生徒は延べ約150人。
- 平昌パラリンピック開会式の取材を実現するなど、活動の範囲は国際交流にまで広がった。



2. 参画プログラム ②アクション事例

教育

「はがきでコミュニケーション全国発表大会」(日本郵便株式会社)

【概要】

- 手紙文化の継承の一助とすることを目的に、「手紙の書き方体験授業」等を通じて小学生が書いた葉書とそれに対する返信からなるコミュニケーションについて、その促進を図るものとして発表・表彰の場を設けるもの。
- 応募テーマ：「大切な相手」を思い浮かべて、伝えたい気持ちをかいて、おたよりで交換しよう！
- 応募対象者：「手紙の書き方体験授業」を受けた小学校1～6年生
- 2018年8月17日（金）から10月15日（月）にかけて募集され、全国164の小学校から2,285点の応募があった。
- 東京2020からは、はがきのやり取りを通じて、夢や目標の実現に向けた力強さや向上心の高まりを実感できる作品に「東京2020賞」を授与



2. 参画プログラム ②アクション事例

教育

「オリンピックとパラリンピックを題材とした教育プログラム」 (パナソニック株式会社)

【概要】

- 東京2020大会開催決定を機に、オリンピックとパラリンピックを題材としたパナソニック独自の教育プログラムを開発し、学校への教材支援活動を開始。それらの教育支援活動を通じ、生きる力を備えた未来へ飛躍する人材育成支援に取り組む
- 2018年度は、新たに「オリンピックとパラリンピックがめざすサステイナブルな未来」をテーマとした教材を開発（提供は2019年度から開始）
- 既存の4テーマ（「大会の意義とそれを支える人々」「多様性と国際理解-おもてなしを考える-」「テクノロジー&イノベーション-技術革新が社会に与える影響を学ぶ-」「多様性と共生社会-インクルーシブな社会を考える-」）と併せて、全国の学校へ教材を提供

オリンピックとパラリンピックを題材とした
教育プログラム

オリンピックとパラリンピックが
めざすサステイナブルな未来

Panasonic

東京 2020 大会は、世界を変える
ハード面だけでなく
ソフト面(心持ちや考え方)を革新し
サステイナブルな社会をめざしている

大会に向けたさまざまな取組から、
「サステイナブルな社会」について
考えよう

3. アクション&レガシー ファイナルレポート

概要

組織委員会は、2016年7月に「アクション&レガシープラン2016」を策定、以後毎年更新。
2020年向けに、このプランで定めたレガシーコンセプトに基づいた各種アクションを実施。
アクションの成果やレガシーについて、大会後に「ファイナルレポート」として取りまとめる。

スケジュール

2018年度	2019年度				2020年度		
第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	大会後
専門委員会		アクション&レガシー プラン2019		専門委員会		東京2020大会	専門委員会(仮) アクション&レガシー ファイナルレポート

3. アクション&レガシー ファイナルレポート

全体構成

- ✓ はじめに
 会長・総長の挨拶等
- ✓ エグゼクティブサマリー
 第二章～第六章のサマリー（主な実績を網羅）
- ✓ 第一章 アクション&レガシーレポートについて
 目的等
- ✓ 第二章 スポーツ・健康
- ✓ 第三章 街づくり・持続可能性
- ✓ 第四章 文化・教育
- ✓ 第五章 経済・テクノロジー
- ✓ 第六章 復興・オールジャパン・世界への発信
- ✓ 第七章 東京2020参画プログラム
- ✓ 第八章 東京2020 NIPPONフェスティバルの概要

※参画プログラム一覧は、ホームページへの掲載をもって
かえる

第二章～第六章について

構成案は以下のとおり

- 基本的な考え方（導入）
- レガシーコンセプト
- アクション（主な実績、目玉プロジェクト含む）
- 成果
- 結び／委員長コラム

レガシー・レポーティング・フレームワークについて

2018年2月21日にIOCがレガシー・レポーティング・フレームワークへの取組について、以下の公表をしたことを受け、東京2020大会においてもIOCの方針に基づき、実施予定。

➤ これまでのOGI調査から、大会開催によるレガシーを把握するための新たな取組(レガシー・レポーティング・フレームワーク)及び従来からの取組である持続可能性に関する報告書へ移行すること。

・OGI調査(Olympic Games Impact Study)とは、オリンピック競技大会の開催が、開催都市や地域の環境・社会文化・経済に与える有形・無形の影響に関する調査のこと。

・レガシー・レポーティング・フレームワークとは、大会が開催都市に及ぼすメリットを把握することを目的とした枠組みのこと。

【基本方針】

レガシーフレームワークは、「大会が開催都市に及ぼすメリットの把握」を目的としているため、開催都市である東京都のレガシー創出に向けた取組から項目を抽出し、東京都と連携を図りながら、レガシーフレームワークを策定する。



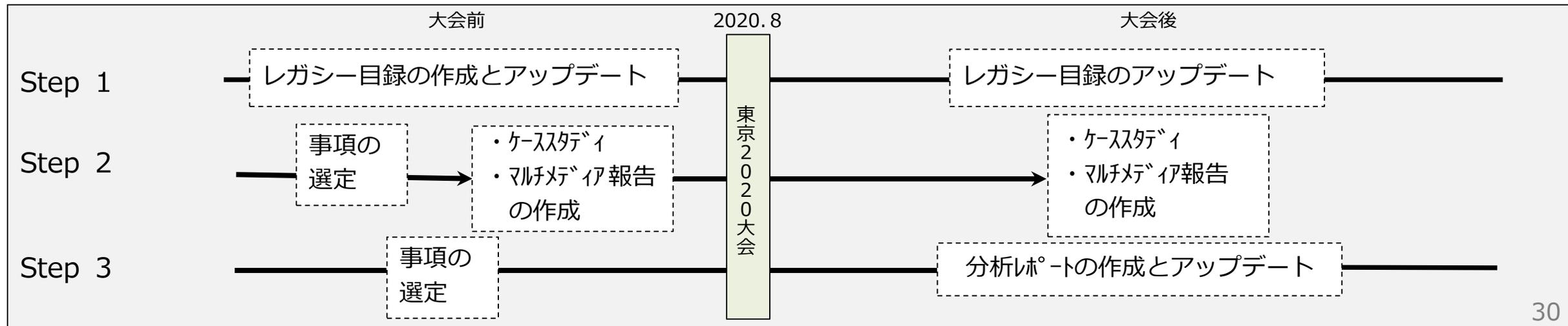
大会開催の短期的な効果、長期的な影響を把握し、大会のレガシーとして発信

おわりに

IOCが提示する概要

- 【Step 1】 ● レガシー目録の作成 –レガシーに関連する取組を記載–
- 【Step 2】 ● ケーススタディの実施、マルチメディアの活用
–Step 1のうち重要と思われる取組事項を抽出し、詳しく説明–
- 【Step 3】 ● 分析レポートの作成 –更に事項を絞り、変化の要因、大会との因果関係について詳細に分析–

スケジュール（※詳細は調整中）



みんなの輝き、つなげていこう。

Unity in Diversity



The Worldwide Olympic Partners



Tokyo 2020 Olympic Gold Partners



The Worldwide Paralympic Partners



Tokyo 2020 Paralympic Gold Partners

